

事務事業名	鉄の未来科学館管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	自治振興課
総合計画 画体系	政策名	<IV>ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	自治振興グループ
	施策名	<31>地域文化の振興		課長名	渡部 一雅
	目的: 対 象	市民	意 図	担当者名	大谷 美里
	基本事業名	<089>地域文化の保存継承		電話番号	74-0211 (内線) 4416
目的: 対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。	予算科目	会計: 款 大事業 大事業 0:15001 事業名 社会教育施設管理事業 項: 目 中事業 中事業 2:51017 業名 鉄の未来科学館管理事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	・指定管理業務 ・施設修繕業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動) ・指定管理業務 (最終年) ・施設修繕業務 ・指定管理終了についての協議 ・R3.3.31をもって条例廃止	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動) ・R3.4.1より閉館し、普通財産として管理。 ※R3年度から市有施設等管理事業へ移管。				
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	指定管理施設運営に関する協議回数	回	6	8	10	*
イ	施設修繕箇所数	箇所	3	3	1	*
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
	市民	ア	雲南市人口	人	37,012	36,248	36,024	*
		イ	指定管理団体	団体	1	1	1	*
		ウ	市内小中学生の人数	人	2,783	2,697	2,667	*
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)		
・来館者にたたら製鉄や国内外の鉄の歴史や未来について理解を深めてもらう。 ・次世代を担う小中学生にも来館してもらい、製鉄のしくみについて理解してもらう。	ア	施設入館者数	人	1,707	1,438	878	*	
	イ	小中学生の入館者数	人	233	203	100	*	
	ウ	指定管理団体の自主事業件数	件	1	1	0	*	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	委託料 (指定管理料)	5,854千円	② コストの推移	単位	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (決算)	R3年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,874	5,801	5,854		
	事業費計 (A)	千円	5,874	5,801	5,854			
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	50	50	50			
	人件費計 (B)	千円	217	212	210			
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,091	6,013	6,064			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・鉄の道文化圏推進協議会の事業の一環で吉田村がH2年に建設した。当時「オープンエアミュージアム」として、この施設の付近一帯の開発に力を入れていた。 ・建設から約30年経過し、施設の老朽化が著しい。 ・展示資料がほとんど更新されていない。	・実績や市の方針に基づき指定管理料の適正化・効率化を図った。 ・H29年度指定管理料の見直しを行った。 ・小規模修繕事業 (30万円未満) で故障した電球のLED化、開閉できなくなった扉の修繕等を少しずつ行い、施設の維持に努めている。 ・R3.3.31をもって閉館し、指定管理を終了した。	・展示資料が古いため、「未来」の科学館となっていない。 ・吉田町の一般来館者はほとんどいない。 ・施設に歪みが生じているため、気分が悪くなる方がおられた。 ・オープンエアミュージアムが山に戻らないようにしてほしい。 ・当時の吉田村民が思いをもって建てたので、解体しないでほしい。 ・閉館後も学校の学習で見学できるようにしてほしい。

事務事業名	鉄の未来科学館管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	自治振興課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由 この事業(施設、設備、資料)で達成できる目的は少ない。 R2年度末で閉館し、R3年度から普通財産として管理するため、「鉄の未来科学館管理事業」としては廃止となる。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 ・施設の設備が著しく老朽化している。常設展示資料も建設当時のままとっている。 ・R2年度末で閉館する。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	理由 ・現在は「たたら製鉄や国内外の鉄の歴史や未来について理解を深めてもらう」という目的に沿った展示資料になっていないため、廃止しても有効性に影響がほとんどない。 ・当該施設が閉館することにより、吉田町内のたたら関連施設の入館者数に影響はほとんどない。		
<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業) たたら製鉄について展示する他の施設との統合(展示資料の有効活用)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 たたら製鉄について資料展示を行う施設は他にもあり、展示内容の整理、統合を行うことができる。R2年度末で閉館し、当面の間、資料はそのまま保管しておく。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 指定管理料については、入館料の増加が見込めないため、これ以上の削減は困難だったが、R2年度末で閉館し、指定管理が終了となるため、指定管理料の削減となる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 R2年度末で閉館、指定管理終了となるが、学校からの見学希望等には総合センターで対応するため、実質的な業務時間の削減にはならない可能性がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 指定管理等を通じて、市内外の住民及び関連する団体、組織等を対象とした幅広い事業が展開されており、公平性は適切だった。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 開館から年数が経過し、この施設を開館しても目的を達成することが難しくなった。 R2年度末で閉館し、R3年度からは普通財産として直営で管理する。他の用途では使用が難しい形状の建物であるため、処分年限がきたら早めに解体することが望ましい。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度末で「鉄の未来科学館管理事業」は廃止された。 ・展示資料の整理、保管について調査検討が必要であり時間を要する。当面、施設と展示資料を現状のまま保管することとなった。大切な資料は、傷む前に移動、適切な保管が必要である。 ・建物に歪みがあり、空調設備も故障しているため、処分年限の到達及び展示資料の整理が完了すれば速やかに解体する必要がある。 ・R3年度から当面、吉田総合センターが普通財産として施設管理を行い、学校から見学希望等があれば対応するようにする。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					